

RS ウイルス感染症の定期接種（母子免疫ワクチン）

問 健康推進課
☎ 62-1235

RS ウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が、少なくとも1度は感染するとされています。初回感染時には、より重症化しやすいと言われており、特に生後6か月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

4月1日（水）から妊婦の方を対象とした定期接種が始まります。

対象者 妊娠28週0日～36週6日（妊娠ごとに1回） **費用** 無料

※母子手帳交付時に必要書類をお渡します。 ※高知県外で接種される場合は、事前に手続きが必要です。
※高齢者に対するRSウイルス感染症ワクチンや、子どもに接種する「抗体製剤」は定期接種の対象とならず、全額自己負担となりますので、ご注意ください。



宿毛市 HP

带状疱疹定期予防接種

問 健康推進課 ☎ 62-1235

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすことがあります。

令和7年4月1日より定期接種が開始となり、年度によって対象者が異なるため、接種の機会を逃さないようご注意ください。年齢で対象となられる方には、3月末に個別通知しています。



対象者 ●年度内に65歳を迎える方*

- 60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

*令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に70・75・80・85・90・95・100歳になる方も対象となります。

【令和8年度対象者】

年齢	生年月日	年齢	生年月日
65歳	S36.4.2～S37.4.1	70歳	S31.4.2～S32.4.1
75歳	S26.4.2～S27.4.1	80歳	S21.4.2～S22.4.1
85歳	S16.4.2～S17.4.1	90歳	S11.4.2～S12.4.1
95歳	S6.4.2～S7.4.1	100歳	T15.4.2～S2.4.1

宿毛市 HP

自己負担 ●生ワクチン 3,000円 ●組換えワクチン 7,000円（2回必要で計14,000円）

詳細は個別通知を確認してください。

高齢者肺炎球菌定期予防接種の変更

問 健康推進課 ☎ 62-1235

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。日本人の約5～10%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が増殖し、下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

現在次の方を対象に定期予防接種を実施していますが、4月1日（水）より、使用するワクチンおよび自己負担額等が変更となります。



宿毛市 HP

対象者 ●満65歳の方

- 60～64歳で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な方

変更点

	使用するワクチン	自己負担額
～3月31日	23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン	2,000円
4月1日～	沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン	3,900円